

## 家庭教育力の強化を図る

# 学校・家庭・地域との連携を深めるPTA活動を通して

犬山市立東部中学校PTA

### 1 はじめに

犬山市は愛知県の最も北部に位置し、市の北側を流れる木曾川が、岐阜県との境界を形成している。本校は、犬山市のおよそ中央付近に位置しており、東に日本第1位の貯水量をもつ農業用ため池、入鹿池があり、学校の周辺にはのどかな田園風景が広がっている。

学校の歴史は比較的新しく、昭和59年に城東中学校と南部中学校の校区の一部を統合し、開校している。開校から39年を経過した、現在の生徒数は、377名（令和4年4月現在）で、全クラス4クラス編成である。家庭・地域との連携もよく取れている。



【東部中校舎】

### 2 研究への取組

#### (1) PTA組織と活動内容

本校のPTAは、会長、副会長、書記、会計の役員と、地区委員を委員とする、保健、広報、生活、文化の4つの委員会から組織されている。保健委員会は、学校保健委員会での話し合いへの参加、広報委員会は、学校行事を中心とした活動を各地域・家庭に紹介する新聞記事の作成をしている。生活委員会は年間通じて4期に渡る、あいさつ運動でのあいさつ推進活動、文化委員会は、夏期休業中に行われる文化講座の運営を行っている。こうした活動について、PTA役員を中心に、PTA委員が学校・家庭・地域とで協力し合いながら活動することで、家庭教育の充実に努めている。

#### (2) 研究のねらい

本校は、開校時より教育目標を「強く 正しく 豊かに 伸びる」とし、教育活動を実践している。学校教育目標を基盤とし、家庭・地域と連携しながら、子どもの育ちを支えている。本校は比較的地域との結びつきが強い学校ではあるが、コロナ禍での地域行事の縮小による、結びつきの変化や機会の減少、SNSトラブルの低年齢化など新たな課題が見られるようになってきた。

子どもは地域の人々の温かさに触れ、家族の愛情を受けることで豊かな情操が育まれる。そこで、PTA活動を通して、学校・家庭・地域との連携を深め、さらなる子どもの健全育成を図りたいと考えた。

### 3 実践活動の概要

#### (1) 心の健康に関する取組

本校では、全校で「睡眠日誌」の記録に取り組んでいる。「睡眠日誌」は、前夜の睡眠時間を帯グラフ状に記入することで、目覚めのよさ、心身の疲労度、眠りを妨げる刺激、寝付きやすい工夫等が記録され、前夜の睡眠を振り返る習慣がつくようになる。担任が「睡眠日誌」を通して睡眠の様子を知ること、生活習慣が乱れている生徒や、精神的に不安定な生徒を早期発見するきっかけとなる。「睡眠日誌」から睡眠習慣が心配な生徒に対し、夏休み前の保護者会の折に保護者と子どもと教師とで睡眠状況や生活習慣の、改善に向けた具体策について話し合い、心の健康について個別指導の充実を図った。また、学校保健委員会では良質な睡眠と成長に関する話を学校医より聞く機会を設けた。

【睡眠日誌】

そして、生徒会活動の一環として、校内で広げたあいさつの輪を、地域でも広げられるような活動を進めている。年間4期にわたる「親子あいさつ運動」では、朝の登校時間に合わせて、クラスごとに有志を募り生活委員会とともに校門にてあいさつを広げるための運動を行っている。あいさつの意識は高まりつつあるが、生徒議会で話し合った際には「あいさつ運動」を終えた後の声の大きさや、表情などで課題が挙げられた。そこで、生徒議会で議論を重ねて、「あいさつを交わし合うことができる人間関係づくり」が大切だという結論に至った。その課題を受け生徒会主体で「あいさつキャンペーン」を行った。「あいさつキャンペーン」では、朝のS Tの時間に大きな声で、一日何回あいさつができたか、振り返る活動を行った。活動後は、あいさつの大切さについて学級全体で話し合い、あいさつの効果やあいさつの意義について確認するなど意識向上を図ることができた。



【親子あいさつ運動】

#### (2) 情報モラルに関する取組

近年SNSの利用についてのトラブルや低年齢化が見られ、学校と家庭との連携・家庭の協力の上適切な利用をすることが大切である。そこ

で、「我が家のSNS使用ルール」を親子で考え設定する機会を設けた。これは、健全で安全な家庭生活や学校生活を送るために、各家庭でSNSの使用ルールを話し合う機会をもってもらい、SNSの問題について家庭と学校が協力して対応していくためである。「我が家のSNSルール」の使用時間や保管場所、家族でのルールやチェックリストという4つの項目について、多くの家庭が親子でしっかりと話し合うことで、各家庭のルールを明確にすることができた。

家庭で決めたルールを、学校に提出してもらい、保護者会で親子と担任と一緒に再確認をした。家でも携帯電話などの光刺激のある機器を使いすぎることが話題になっており、受験生などの学習時間の確保や、睡眠時間の保持、視力低下の防止について話し合うことができた。

また、生徒だけでなく保護者も対象として「親子で考える情報モラル教室」を例年12月の授業参観で開催し、問題意識について共有している。

**我が家のSNSルール**

**利用時間**  
 ＊スマホ・SNSを使う時間は1日 〇 時間までにします。  
 ＊スマホ・SNSを使う時間は 〇 時までにはします。

**保管場所**  
 ＊どれか1箇所は リモート に置いておきます。

**家族のルール** (この他に決めたルールがあれば書いてください)  
 家族のルールは決まっています。  
 家族のルールは決まっています。  
 家族のルールは決まっています。

**我が家の安全チェックリスト**  
 インターネットやSNSの危険性について家族で話し合っています。  
 スマホや携帯電話はフィルタリングやセキュリティアプリを付けている。  
 利用時に、スマホの利用履歴やSNSの内容を確認している。

【我が家のSNSルール】

(3) 親子や地域との絆を深めるための取組

本校では毎週木曜日の昼15分間に「木黙読書」として、全校で読書をする時間が設けられている。PTA委員とは別に、地域の図書館ボランティアも毎週木曜日に図書館環境整備などの活動をしていて、学校図書館は温かい雰囲気生徒の利用数も多い。集中して本を読む生徒がいたり、図書館で本を借りたりする生徒が多く見られる一方で、各家庭では生徒が本をあまり読まないという声がPTA委員より聞かれた。

そこで、夏期休業中に親子で一冊の本についてブックトークができるよう親子読書「家読」の取組についてPTA役員と協議して行った。同じ本を親子で読むことや、子どもが親に読んでほしい本を選ぶこと、親が子どもに読みたい本を選ぶなどしてそれぞれの感想を話し合う機会とすることができた。

夏期休業中に取り組む「読書感想文」とは別に「家読」の機会をもつことで、市立図書館に足を運ぶことや、親子のコミュニケーションを深めることができた。読書の習慣化への新たな刺激を加えることもできた。

**家読(うちどく)のご案内**

向学の森、保護者の皆様にはますますご賛助のこととお喜び申し上げます。PTA活動にご支援とご協力を賜りありがとうございます。

さて、本年度、家庭教育を進めるための取組として、お子様と保護者に読書を楽しむ「家読」に取り組んでいきたいと考えています。家読し、子どもと親が読書したり、感想を話し合ったりする機会です。家読を通して学習を進め、親子のコミュニケーションが活発になり、絆が深まります。

1年3組 氏名前 ( )	
読んだ本	作作家
精進の寺	上嶋 菜穂

**読んだ感想**

この本は、精進の寺という寺の歴史や文化について書かれています。寺の歴史や文化について詳しく知ることができて、とても面白かったです。寺の歴史や文化について詳しく知ることができて、とても面白かったです。

【親子読書】

また、毎年夏期休業中に文化講座を開いている。PTA文化委員を中

心に、学校事務局と協力して、企画・運営を行っている。文化講座は文化的な活動として、「ヨガ講座」「ハーバリウム講座」「フラワーゼリー講座」「観葉植物の寄せ植え講座」「ボトルフラワー講座」などと、多岐に渡っている。

PTAの活動としては、講座を担当する講師の選任から始まる。講師との連絡調整や、参加人数の確認、材料や会場についての打ち合わせ、当日の司会進行、事後アンケートの回収となる。保護者と子どもで運動をしたり、作品を作ったりすることで、親子の会話が生まれ、夏期休業中においても豊かな体験をすることのよさを感じるような機会となっている。

事後アンケートを活用して、当日参加した保護者の感想をPTA広報委員会がPTA新聞の一部に取り上げている。PTA新聞は年間に2号発行され、学校生活の様子や保護者や生徒の思いについての記事が載せられている。

毎年8月第一週の日曜日にかかれる、「石上げ祭り」に参加した子ども、保護者、地域の人々の声などもPTA新聞に取り上げられる。PTA新聞を通じて地域との絆が深まるような工夫もされている。



【PTA文化講座】



【PTA新聞 青空】

#### 4 おわりに

「強く 正しく 豊かに 伸びる」という学校教育目標を基盤とし、学校・家庭・地域との連携を深めることを目指して取り組むことで、子どもを取り巻く家庭や地域での豊かな情操教育に取り組んでいくことができた。さまざまな取組を実践することや、取組についてPTA委員会で話し合うことで、家庭教育の役割についても研鑽することができた。今後の課題は「家庭や地域との更なる連携」だと考えている。コロナ禍が続く中でも連携を深めていくためには、「思いの継続」が必要だと考えられる。

学校や家庭・地域で取り組んだことで生まれたさまざまな「思い」を共有し、継続させ、伸ばしていけるように、状況に応じて試行錯誤しながら取り組んでいくことが大切である。今後も、学校・家庭・地域とで、「チーム東中」として皆で一丸となり、取り組んでいくことができるよう、積極的に意見交換をしながら前進していくPTA活動を展開していきたい。